

第4回とっりの自然を活かしたガーデンデザインコンテスト 現場説明書

■設計対象地

設計対象地は、湯梨浜町の東郷湖北西岸にある県立東郷湖羽合臨海公園の浅津地区に位置する。



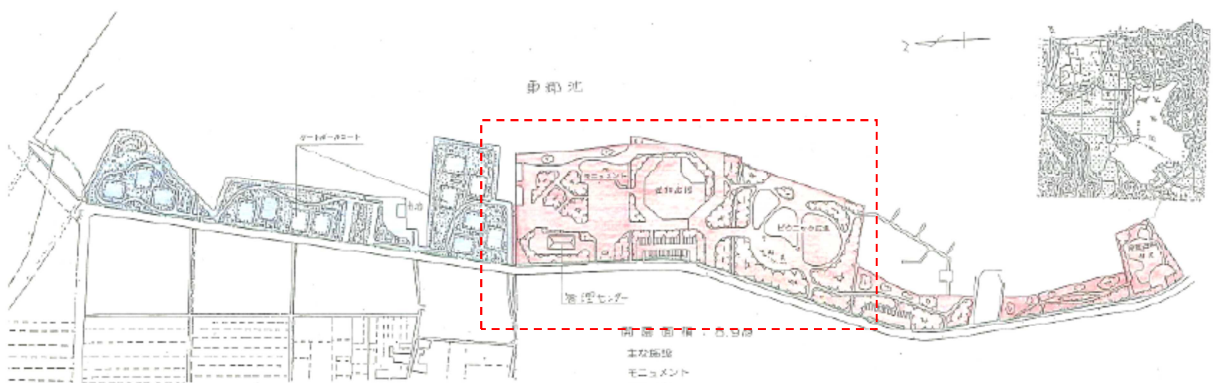
[公園概要]

開園面積： 8.9ha

主要施設： モニュメント、催物広場、ピクニック広場、児童遊戯コーナー、管理センター、ゲートボール場

開園時期： I期（赤色区域）昭和54年10月20日 6.1ha

II期（青色区域）昭和61年4月1日 2.8ha



設計対象地は、浅津地区の中央部に位置し、I期地区のメインエントランスゾーンとなっている。



■浅津地区の植栽更新（リニューアル）について

県立東郷湖羽合臨海公園の浅津地区は、埋め立て造成基盤上に昭和54年にⅠ期地区、昭和61年にⅡ期地区がそれぞれ開園し、整備後30～37年が経過している。本地区は、開園当時から大きな更新工事等実施されておらず、当時植栽された樹木は、生育にともない樹木の密生や、生育不良が目立っていた。特に、当該ゾーンは、浅津地区の中央拠点であることから優先的に植栽の更新を図ることとして平成28年度から整備を進めている。

1) 現況の課題

- 生育不良木が多く、特に先枯れ木が目立つ。
（地下水位の高さや埋立て時の土壌の締固め等が影響していると想定される）
- 林床は表土が露出し土壌は固結乾燥。
- 樹木が密生し見通しが悪く暗い樹林を形成。また、密生木が互いに生育を阻害。
- 視界を遮る高さによくの中木が生育し、湖岸ならではの水面を活かした景観となっていない。

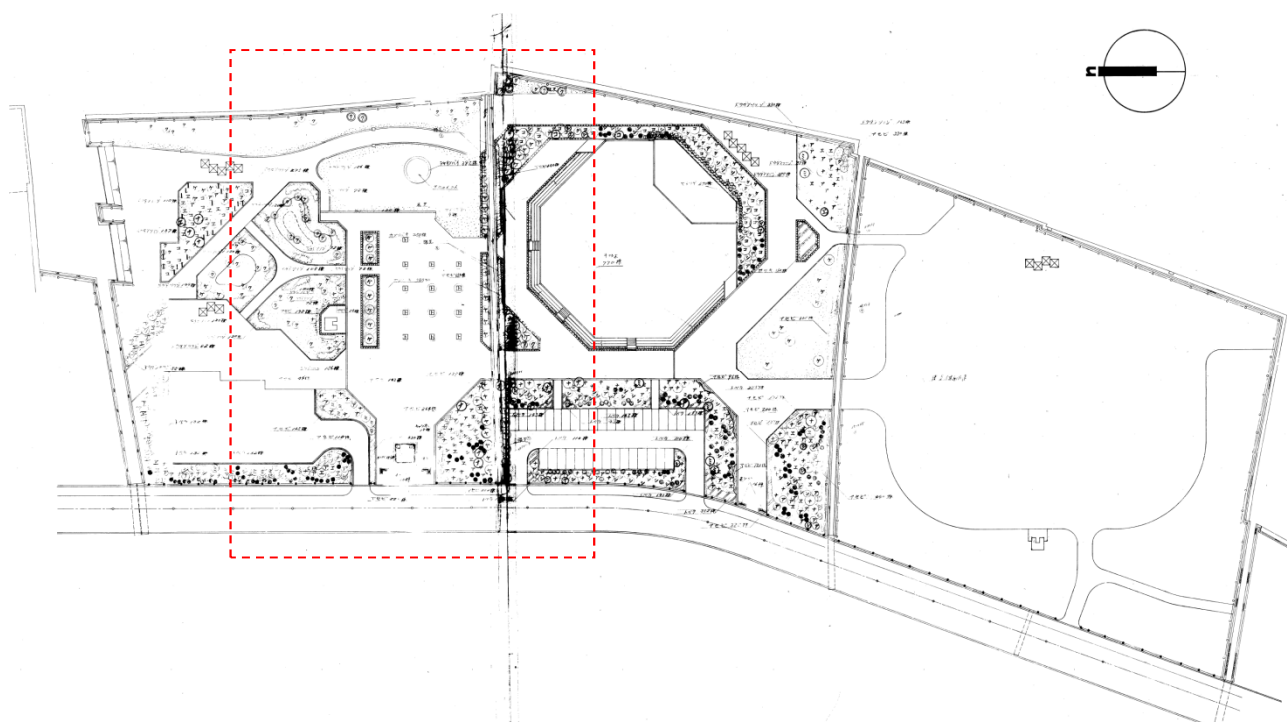
2) 整備の基本方針

上記の課題に対し下記の整備方針①から③について、平成28年度にゾーンの一部を更新工事した。

- ①生育不良木の除伐
- ②不要木の除伐
 - 樹林密度の整理（密→疎）
 - 見通しの確保
- ③既存植栽の樹勢回復
 - 林床への覆土、マルチング等（伐採木のチップ化リサイクル）
- ④季節感と彩りのある植栽
 - 多種多様な在来種を中心とした美しい植栽
 - 整備と管理費を抑えた地域住民が愛着を持てる植栽

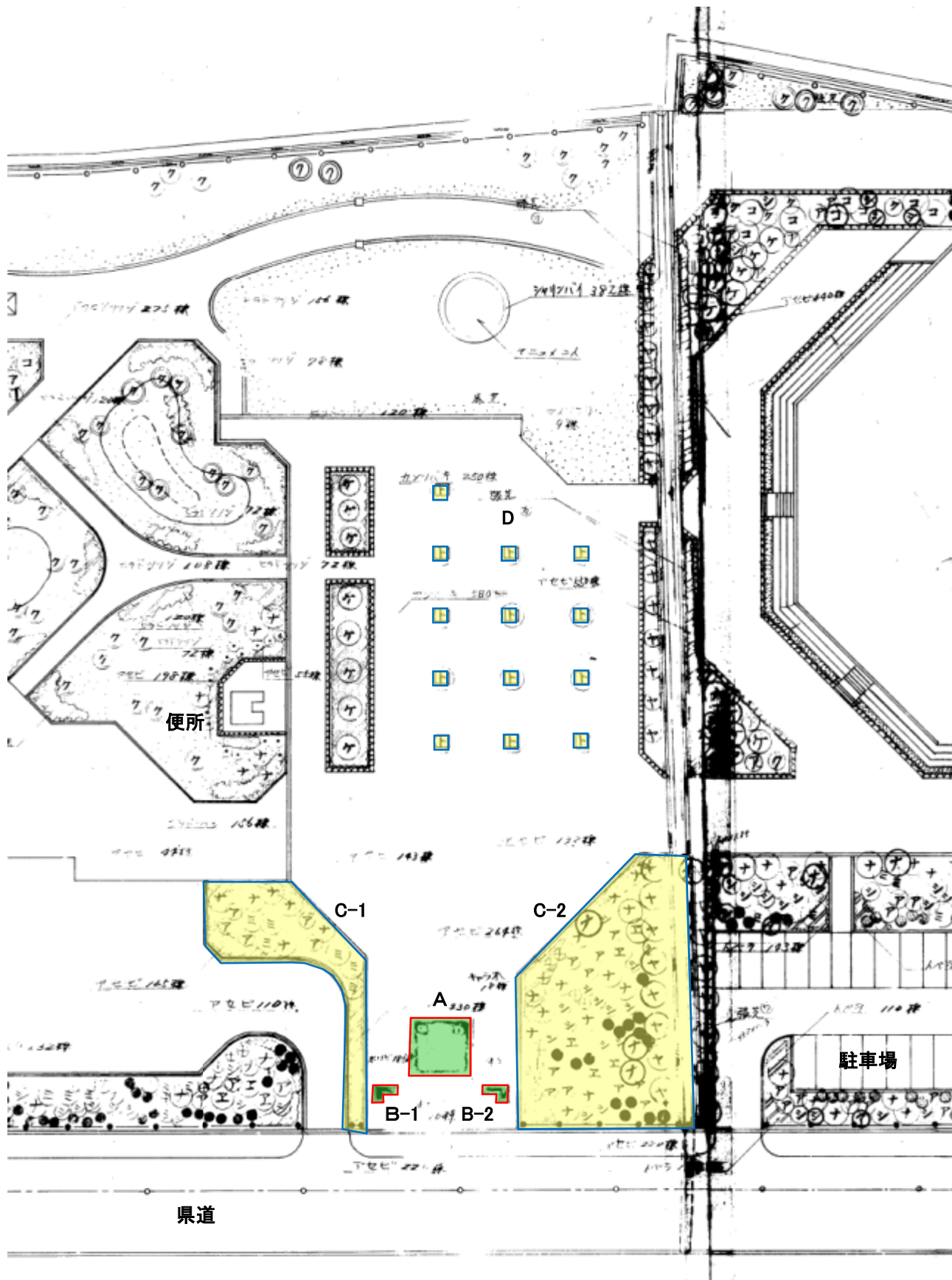
3) 本コンテストの目的

上記の方針「④季節感と彩りのある植栽」について、本コンテストの提案を基に整備に活かすこととしている。



■設計対象地（詳細）

下記赤枠地内 A 及び B-1、B-2 の植栽設計を行うこと。



参考：C、Dは平成28年度の更新工事により生育不良木等を除伐した区域